

平成24年度千葉市防災会議幹事会議 会議録

1 日時 平成24年6月1日（金曜日）10：00～11：15

2 場所 千葉市役所8階 正庁

3 出席者

(1) 千葉市防災会議幹事 63名

防 災 会 議		幹 事		代理出席等（敬称略）
No	機関名	職名	氏名（敬称略）	
1	関東財務局千葉財務事務所	総務課	長磯野好男	欠席
2	関東農政局千葉地域センター	次長	鈴木卓	(代理出席) 総括管理官 山根久男
3	関東運輸局千葉運輸支局	首席運輸企画専門官	齋藤隆	
4	第三管区海上保安本部千葉海上保安部	警備救難課	長林一馬	
5	銚子地方気象台	防災業務課	長佐々木泉	
6	関東地方整備局千葉国道事務所	防災情報課	長高浦敏功	
7	千葉労働基準監督署	次長	濱崎喜明	
8	千葉県防災危機管理部	防災計画課	長田中剛	
9	千葉県千葉土木事務所	調整課	長片岡嘉雅	
10	千葉県千葉港湾事務所	施設管理課	長白戸秀昭	
11	千葉県水道局千葉水道事務所	施設管理課	長鈴木正己	
12	千葉水道事務所千葉西支所	施設管理課	長並木武史	欠席
13	千葉県警察	千葉市警察部総務課	長小林秀樹	
14		千葉中央警察署警備課	長本間充	
15		千葉東警察署警備課	長神谷直樹	
16		千葉西警察署警備課	長山口直昭	
17		千葉南警察署警備課	長丹治次郎	
18		千葉北警察署警備課	長山田安志	
19	千葉市	危機管理監(危機管理課長事務取扱)	大麻精一	(代理出席) 課長補佐 岡本茂之 (代理出席) 課長補佐 荒井健二 (代理出席) 課長補佐 長谷部収 (代理出席) 課長補佐 内海豊
20		防災対策課	長山崎信彦	
21		総務課	長深山秀文	
22		政策企画課	長稻生勝義	
23		資金課	長藤ノ木大祐	
24		市民総務課	長吉原睦	
25		保健福祉総務課	長小早川雄司	
26		子ども企画課	長山田啓志	
27		環境総務課	長大木俊郎	
28		経済企画課	長今井克己	
29		都市総務課	長豊田滋貴	
30		建設総務課	長岡本啓史	
31		水道総務課	長吉野博一	
32		経営企画課	長肥川一元	
33		会計室	長宇留間正	
34		副区長(地域振興課長事務取扱)	森島俊之	
35		副区長(地域振興課長事務取扱)	米田滋夫	
36		副区長(地域振興課長事務取扱)	大岩英	
37		副区長(地域振興課長事務取扱)	鎗田睦	
38		副区長(地域振興課長事務取扱)	井谷宏	
39		副区長(地域振興課長事務取扱)	和田信子	

防 災 会 議		幹 事		代理出席等（敬称略）	
No	機関名	職名	氏名（敬称略）		
39	千 葉 市	教 育 総 務 部 総 務 課 長	初 芝 勤		
40	千 葉 市 消 防 局	警 防 課 長	渡 邊 仁 次		
41	千 葉 市 消 防 団	消 防 局 総 務 課 長	初 芝 泰 雄		
42	郵 便 事 業 株 式 会 社	千 葉 支 店 業 務 企 画 室 長	角 田 正 義	(代理出席) 支店長 佐相道正	
43	東 日 本 旅 客 鉄 道 株 式 会 社	千 葉 地 区 指 導 セ ン タ ー 所 長	小 林 伸 雄		
44	東 日 本 電 信 電 話 株 式 会 社 千 葉 支 店	災 害 対 策 室 長	関 根 和		
45	日 本 赤 十 字 社 千 葉 県 支 部	救 護 福 祉 課 長	増 田 文 仁		
46	日 本 放 送 協 会 千 葉 放 送 局	放 送 部 長	藤 本 徳 明		
47	日 本 通 運 株 式 会 社 千 葉 中 央 支 店	営 業 課 長	大 熊 幸 男		
48	東 京 電 力 株 式 会 社 千 葉 支 社	配 電 保 守 技 術 グ ル ー プ マ ネ ー ジ ン グ	間 宮 政 之		
49	東 京 ガ ス 株 式 会 社 千 葉 支 社	副 支 社 長	柳 井 功		
50	千 葉 ガ ス 株 式 会 社	技 術 部 防 災 ・ 供 給 グ ル ー プ マ ネ ー ジ ン グ	高 橋 浩 二		
51	大 多 喜 ガ ス 株 式 会 社 供 給 部 千 葉 事 業 所	リ ー ダ ー	石 井 保 夫		
52	東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社 関 東 支 社 千 葉 管 理 事 務 所	工 務 担 当 課 長	佐 藤 達 雄		
53	京 成 電 鉄 株 式 会 社	京 成 千 葉 駅 助 役	木 村 明 郎		欠席
54	千 葉 都 市 モ ノ レ ー ル 株 式 会 社	運 転 課 長	小 出 明 徳		欠席
55	社 団 法 人 千 葉 県 ト ラ ッ ク 協 会	業 務 部 長	岩 井 亮		(代理出席) 業務課長 青塚栄二
56	社 団 法 人 千 葉 県 バ ス 協 会	事 務 局 長	増 田 清		
57	千 葉 テ レ ビ 放 送 株 式 会 社	報 道 部 長	安 田 昌 子		
58	株 式 会 社 ベ イ エ フ エ ム	技 術 部 長	稲 垣 利 幸		
59	社 団 法 人 千 葉 県 エ ル ピ ー ガ ス 協 会	千 葉 支 部 長	長 嶋 健 夫		
60	社 団 法 人 千 葉 市 医 師 会	理 事	浅 井 隆 二		欠席
61	陸 上 自 衛 隊 高 射 学 校	企 画 室 防 衛 幹 部	沖 沢 稔	(代理出席) 事務局 古茶弘之	
62	千 葉 市 町 内 自 治 会 連 絡 協 議 会	市 民 自 治 推 進 課 長	布 施 俊 幸		
63	千 葉 商 工 会 議 所	総 務 部 長	大 澤 三 郎		
64	社 団 法 人 千 葉 市 歯 科 医 師 会	専 務 理 事	阿 部 浩 生		
65	社 団 法 人 千 葉 市 薬 剤 師 会	副 会 長	大 塚 さ ち 子		
66	千 葉 市 建 設 業 協 会	防 災 担 当 部 会 長	池 田 厚 美		
67	千 葉 市 女 性 団 体 連 絡 会	事 務 局 長	杉 本 明 行		
68	社 団 法 人 千 葉 県 看 護 協 会	医 療 法 人 社 団 誠 馨 会 千 葉 中 央 メ デ ィ カ ル セ ン タ ー 看 護 部 長	内 田 好 美		(代理出席) 千葉県救急医療センター看護局長 石井崇子

(2) 市説明者等 4名

危機管理課 鴻崎課長補佐・田中主査・高柳主任主事
 防災対策課 大岡主幹

4 議題

- ・ 議題 1 千葉市地域防災計画について
 - (1) 東日本大震災における千葉市の状況について
 - (2) 千葉市地域防災計画の見直しについて
 - (3) 第33回九都県市合同防災訓練千葉市会場について
- ・ その他

5 議事の概要

- ・議題1 千葉市地域防災計画について（承認）
 - (1) 事務局から、東日本大震災における千葉市の状況について報告
 - (2) 事務局から、千葉市地域防災計画の見直しについて説明
 - (3) 事務局から、第33回九都縣市合同防災訓練千葉市会場について説明
- ・その他 委員から、質問や提案等の発言があり意見交換を行った。

6 発言要旨

議事進行の前に、事務局から防災担当部局の変更による千葉市防災会議運営要綱の改正について報告があった。

- ・議題1 千葉市地域防災計画について
 - (1) 東日本大震災における千葉市の状況について
平成23年3月11日に発生した東日本大震災の概要と本市の被災状況及び対応について事務局より報告があった。
 - (2) 千葉市地域防災計画の見直しについて
 - ア 事務局から、千葉市地域防災計画見直しにかかるスケジュールについて説明があった。
 - イ 事務局から、千葉市地域防災計画の見直しにあたっては、①東日本大震災の教訓を踏まえ、より実効性のある計画とする。②津波や複合災害などあらゆる可能性を考慮した計画とする。③最小限の被害にとどめる「減災」の考え方を取り入れる。④自助・共助・公助の視点から役割分担を明確にする。⑤千葉市新基本計画（平成24年度～33年度）に基づき、10年・20年後を見据えた、「災害に強いまちづくり」を推進した計画とする。⑥国・県の基本方針や関係法令の改正との整合性を図ることの6項目を基本方針として見直しを進めていくことについて説明があった。
 - ウ 事務局から、防災会議委員に依頼する予定の地域防災計画見直しにかかる意見照会について、実施内容とスケジュールの説明があった。
 - (3) 第31回九都縣市合同防災訓練千葉市会場について
事務局から、平成24年9月1日に実施予定の九都縣市合同防災訓練千葉市会場について説明があった。
- ・その他 委員から、質問や提案等の発言があり意見交換を行った。

幹事（関東農政局千葉地域センター）

資料2の2ページ⑤災害に強いまちづくりに関して質問する。

先の東日本大震災においては、仙台市のガスの供給・ライフラインについても甚大な被害を受けてガスの供給再開には一か月ほど要したと聞いている。その前にあった

阪神大震災の際は3か月ほどかかったと聞いている。

それから比べると仙台市の場合は比較的早く再開できたということで、その理由としては、地震等の災害に強いガスの配管等、宮城沖地震が予想されていたために、前もって配管等を取り換えていた。前もって対策を行っていたことが大きな要因だときいている

千葉市に置いては災害に強いガス管の普及率はどのくらいになっているかお聞きしたい。

議長（大麻危機管理監）

もしわかればお答えできるか。

幹事（東京ガス(株)千葉支社）

普及率をこの場ですぐにお答えできないが、基本的に、今の話の通り、耐震性の高いガス管の普及は進んでいる。

加えて、東京ガス管内ではブロックの細分化を進めている。被害が甚大なところについては、そのエリアを遮断して、他の被害が軽微なところはそのまま供給を続ける。そういったブロック細分化を進めている。

ブロック細分化をすることにより、復旧のスピードを上げることに取り組んでいる。普及率に関しては調査の上、改めてお答えしたい。

議長（大麻危機管理監）

もし数字が出るようでしたら願います。

幹事（東京ガス(株)千葉支社）

地震に強い管と言われているのは、ポリエチレン管、溶接鋼管などのことであり、東京ガス管内全体では、低圧導管の総延長の約80パーセントがそういった管になっている。

残りのガス管に関してはねじ鋼管、鋳鉄管の一部に継ぎ手部分が他に比べて耐震性が弱いとされている管である。これらは「耐震性がない」ということではなく、「ポリエチレン管などに比較した場合には弱い」という事でご理解いただきたい。そこに関しては順次計画的に取り換えを行っているところである。

（最終的にいつまでに取り替えが完了するかということについては、ここではお答えできない。）

ブロック細分化と相まって、いかに復旧を、早く行うかという取組みに関しては、今後も、いろいろ検討しながらやっていきたいと考えている。

議長（大麻危機管理監）

先ほどの回答はこれでよろしいか。

幹事（関東農政局千葉地域センター）

了解した。

幹事（千葉市女性団体連絡会）

昨年の東日本大震災での帰宅困難者と避難所などの課題や、一昨年稲毛区にも被害をもたらした大雨など、実際に発生した事例を踏まえて検討していかなければいけない。

議長（大麻危機管理監）

実際の運営の中で、実効性のあるものにしていきたい。

幹事（日本放送協会千葉放送局）

NHKでは東日本大震災を受けて、今後、首都直下地震があった際の電波の活用を検討している。

情報量が膨大になるので、電子データを活用できないか考えている。

今回の防災会議の「案内」などは紙ベースで送られてくるが、防災機関の情報共有の早さから言えば、電子メールのほうが早い。いざというときには、紙やf a x、防災無線が使えるのだが、東日本大震災では、意外にメールやツイッターなどが有効で災害にも強かった。

NHKもツイッターのアカウント「ラッカ星人」により、災害情報も発信している。

電子的なものをどう活用するか、一つの提案として、各関係機関の担当メールアドレスを集約し連絡をメールで行うなど、どのような情報伝達ができるか模索していただくことを提案する。

議長（大麻危機管理監）

電子データでのやり取りなどは事務局で検討していただきたい。